

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2005-92216 (P2005-92216A)

【公開日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報 2005-014

【出願番号】特願 2004-270575 (P2004-270575)

【国際特許分類】

G 0 3 G 5/14 (2006.01)

G 0 3 G 5/06 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 5/14 1 0 1 E

G 0 3 G 5/14 1 0 1 D

G 0 3 G 5/06 3 7 1

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 11 日 (2007.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

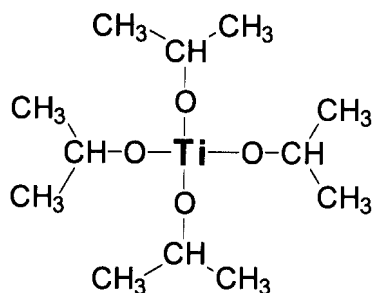
【請求項 1】

正孔障壁層と、
光発生層と、
電荷輸送層と、
を有する光導電性画像形成部材であって、
前記正孔障壁層は、
金属アルコキシドと、
アミノアルキルシラン、アミノアルコキシシラン、又はアミノアルキルアルコキシシランと、
ポリマーバインダと、
有機溶媒と、
を含む溶液より生成することを特徴とする光導電性画像形成部材。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の光導電性画像形成部材であって、
前記金属アルコキシドは、次の構造式で示されるチタンイソプロポキシドであることを特徴とする光導電性画像形成部材。

【化 1】



【請求項 3】

請求項 1 に記載の光導電性画像形成部材であって、
前記金属アルコキシドは、
チタンメトキシド、チタンブトキシド、ジルコニウムブトキシド、又はチタンエトキシドであることを特徴とする光導電性画像形成部材。

【請求項 4】

必要に応じた支持基板と、
正孔障壁層と、
光発生層と、
電荷輸送層と、
を有する光導電性画像形成部材であって、
前記正孔障壁層は、
チタンアルコキシドと、
アミノアルキルシランと、
必要に応じたポリマーバインダと、
を有することを特徴とする光導電性画像形成部材。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の光導電性画像形成部材であって、
前記光発生層は、V 型ヒドロキシガリウムフタロシアニンを有することを特徴とする光導電性画像形成部材。